## 英

# 英語 科学習指導案

- 1 日 時 平成21年 10月26日(月) 第5校時
- 2 場 所 1年生教室
- 3 対象学年 1年生 8名
- 4 単元名 Unit6 グリーン家の人々(Part1 人について紹介しよう)
- 5 参加者 北広島町学力向上事業 英語部会メンバー

## 教科に関する調査の設問別の分析結果

#### 【第1学年2学期中間考査より】

## 問題

あなたは,新しく来られたALTに自己紹介をすることになりました。自分のことを紹介する文を5文以上で書きなさい。

	 -	

#### 【出題の趣旨】

自分のことについて,様々な表現を使い,英語で表現することができるか。

### 【学習指導要領の内容・領域】

- エ 書くこと
- (イ)語と語のつながりなどに注意して正 しく文を書くこと。
- (エ)身近な場面における出来事や体験したことなどについて,自分の考えや気持ちなどを書くこと。

文の数	8文		8文 7文 6文		5文			
文法正誤		×		×		×		×
人数(%)	0人(0%)	1人 (7.7%)	0人(0%)	1人 (7.7%)	1人 (7.7%)	1人 (7.7%)	4人 (30.8%)	3人 (23%)
文の数	4	文	無回答					
文法正誤		×						
人数(%)	1人 (7.7%)	0人(0%)		人 7%)				

### この問題を解くために必要な力

英語を正しく書く力

自分のことについて表現する力

#### 誤答分析

【綴りの誤り】

I like tennis, to. I don't like soccr. My favorite sbject is math.

## 【冠詞等の誤り】

I like dog. I have new game. I don't like milks.

### 【be 動詞と一般動詞の誤り】

I am play tennis. I am like tennis.

## 【文法的な誤り】

I like not math.

## 【代名詞の誤り】

English is not easy, but very interesting.

## 【大文字・小文字の誤り】

my name is .

#### 【動詞の誤り】

I play ski.

## 【ほぼ同一内容の文の反復】

I play baseball. I play baseball after school. I like baseball.

## 【同じ語彙の使用】

I like tennis. I like soccer. I like P.E.

## 調査結果の分析をふまえた指導改善のポイント

#### 【単元名】 Unit6 グリーン家の人々

#### 調査結果からみる課題

#### 【課題となる力】

正しい文法を用い,英文を書くことができていない。

自分のことを表現する時,ほぼ同じ内容の文の反復や同じ語彙の使用頻度が高く,様々な既習文型や語彙を使って表現することができていない。

#### 【指導上の課題】

冠詞,語彙,be動詞と一般動詞の混乱が見られ,文法または語彙の確実な定着が不十分であった。

習った文型や語彙数が増えて表現できる幅が広がったものの,自分のことを読み手・聞き手を意識しながらまとまりのある文で表現させる活動や場が少なかった。

#### 指導改善のポイント

#### 【指導の工夫】

単語・重要文型・本文など,口頭練習・ 音読練習・暗唱練習を徹底し,音声から の定着を図る。

音声の定着のあと,語の並べ替え作文や 英作文など,英文を書く機会に多く触れ させ,英文を正しく書く力の定着を図 る。また,家庭学習の中でも自主英作文 を書かせる指導を行う。

学習した文法事項を使い,自分のことや身の回りのことについてまとまりのある文を表現できるような活動を取り入れる。

#### 【具体的改善策】

ペアやグループを用いた音読練習, ALTによる暗唱テストを行い,「文字と音声の結びつき」や「英文の構造・骨組み」について音声からの定着を図る。

語の並べ替え・英作文問題・自主英作文を小テスト・宿題プリントで行うなど,英文を書く機会に多く触れさせ,英文を正しく書く力の定着を図る。

文法事項を学習した後に,自分のことや,身の回りのことについてまとまりのある 文を繰り返し書かせる。その時,書く意欲を高めるために書いた量についても評価 する。そして発表する場面を設定し,いろいろな文章に触れさせる。

## 中学校第1学年 英語科学習指導案

1 日 時 平成21年 10月26日(月) 第5校時

2 場 所 1年生教室3 対象学年 1年生 8名

4 単元名 Unit 6 グリーン家の人々 (Part 1)

## 単元について

本単元は,カナダに住んでいるグリーン先生の姉リサが話題の中心になっている。アルバムを見ながらの彼女についての紹介,リサに送る歌舞伎の本を見ながらの会話,リサの夫である浩司と友人ビンの話と続いている。カナダには日本語を学ぶ人がいることや母語が異なる人々でも「英語」を使ってコミュニケーションをとることができる等,国際理解についても考えることができる題材である。

言語材料としては,初めて三人称単数現在形が導入される。三人称単数現在形の肯定文,疑問文,否定文を一通り学習できる教材である。Unit2で be 動詞を用いて「人を紹介する」場面を学習したが,さらに表現の幅が広げられると思う。しかし,本単元の三人称単数現在形で生徒のつまずきが見られると思われるので,練習や確認の場では正確さを要求するきめ細かい指導を心がけていきたい。

また,本単元は相手を紹介する場面が多いため,表現活動の場を設定し,自分で正しい文章を 作り,それを発表する力を付けさせたい。

## 調査結果からみる課題

#### <誤答分析から>

無解答率と5文書くことのできていない生徒を合わせると 15.3%であり,英語の文を書いてみようとする意欲が全員には育っていない。

too を to , subject を sbject , soccer を soccr と間違えるなど, 綴りの誤りが見られ, 完全に覚えきっていない。

I am like ~. I like not ~. と間違えるなど , be 動詞と一般動詞の混乱や文法の誤りが見られた。

English is not easy, but very interesting. と代名詞の誤りがあった。

I like dog. I like milks.と冠詞のつけ方が理解できていない。

Ilike ~.を何度も使い,他の表現を使っていない。

ほぼ同じ内容を繰り返している。

#### <指導上の課題>

冠詞,語彙, be 動詞と一般動詞の混乱が見られ,文法または語彙の確実な定着が不十分であった。

習った文型や語彙数が増えて表現できる幅が広がったものの,自分のことを読み手・聞き手を 意識しながらまとまりのある文を表現させる活動や場が少なかった。

## 指導改善のポイント

単語・重要文型・本文など,口頭練習・音読練習・暗唱練習を徹底し,音声からの定着を図る。

音声の定着のあと,語の並べ替え作文や英作文など,英文を書く機会に多く触れさせ,英文を 正しく書く力の定着を図る。また,家庭学習の中でも自主英作文を書かせる指導を行う。

学習した文法事項を使い,自分のことや身の回りのことについてまとまりのある文を表現できるような活動を取り入れる。

## 単元の目標

コミュニケーションへ	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての
の関心・意欲・態度	衣坑の能力	注解が別記力	知識・理解
・今までに学んだ表現	・三人称単数現在形を	・会話文を聞いたり読	・三人称単数現在形の
を用いて,コミュニケ	用いて,相手の説明や	んだりして,内容を理	形・意味・用法につい
ーションを図ろうとす	紹介をしたり,尋ねた	解できる。	て理解する。
る。	りできる。		・カナダでの日本語を
	・相手について説明し		学ぶ人が多いことや母
	たり、紹介する文を書		語が異なる人々同士で
	くことができる。		も「英語」でコミュニ
			ケーションが図れるこ
			とを理解する。

## 指導と評価の計画

#### (全6時間)

<u> </u>								
   次   学習内容 ( 時数 )			評 価					
^	子自內合(时奴)	関	表	理	知	評 価 規 準	評価方法	
	・三人称単数現在形を用					・三人称単数現在形を用いた文の意味・文構造に	活動の観察	
	いた文の形 ,意味 ,用法					ついて理解している。		
	を理解する。							
_	・本文を読んで内容を理					・書かれた内容について正しく読み取ることがで	生徒の応答,ノー	
	解する。					きる。		
	・音読練習をする。					・基本的な強勢や,文におけるイントネーション, 後日暗唱テ		
						区切りなどを適切に用いて音読できる。		
	・三人称単数現在形の運					・言語活動において , 学んだ表現を使って , 人の	ワークシート , 活	
=	用練習と表現活動。					説明や紹介をすることができる。	動の観察	
	【本時】							
1			l	l	1			

	一」和兴物用大型。每			<b>半野の知</b> 宛
	・三人称単数現在形の疑 		・三人称単数現在形の疑問文・応答文を用いた文	活動の観察
	問文・応答文を用いた文		の意味・文構造について理解している。	
	の形 ,意味 ,用法を理解			
≡	する。			
=	・本文を読んで内容を理		・書かれた内容について正しく読み取ることがで	生徒の応答,ノー
	解する。		きる。	۲
	・音読練習をする。		・基本的な強勢や,文におけるイントネーション,	後日暗唱テスト
			区切りなどを適切に用いて音読できる。	
	・三人称単数現在形の否		・三人称単数現在形の否定文を用いた文の意味・	活動の観察
	定文を用いた文の形 ,意		文構造について理解している。	
	味,用法を理解する。			
四	・本文を読んで内容を理		・書かれた内容について正しく読み取ることがで	生徒の応答,ノー
	解する。		きる。	۲
	・音読練習をする。		・基本的な強勢や,文におけるイントネーション,	後日暗唱テスト
			区切りなどを適切に用いて音読できる。	
	・三人称単数現在形の疑		・言語活動において , 学んだ表現を使って , 相手	ワークシート
   <del> </del>	問文・応答文 , 否定文の		のことを尋ね,応答ができる。	活動の観察
	運用練習と表現活動。			
	単元のまとめ		・be 動詞および一般動詞の形・意味・用法を復	生徒の応答,ワー
	・今まで学習した表現を		習し,主語と動詞の関係を理解している。	クシート
六	まとめる		・三人称単数現在形を用いて ,人の説明や応答が	後日単元テスト
			できる。	
-		 		

# 本時の学習

## (1)本時の目標

三人称単数現在形の文を用いて,人についての紹介文を3文以上正しく書くことができる。 聞き手に内容を伝えられるように,場面に合った表現方法を工夫して,積極的に発表しようと する。

#### (2)本時の学習展開

(2)本時の学習展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
1 ウォームアップをおこなう			
あいさつをする。  Question & Negative ゲームをする。  音読練習・暗唱練習をする。	大きな声が出せるような雰囲気 を作る。 sentence をインプットしながら , 即興で答えることができるよう にする。 場面にふさわしい読み方を意識 させる。		
2 三人称単数現在形を再度,復	 翌をする。		
前時で習った三人称単数現在形 を全員で確認する。	主語カードを用いて,口頭での 復習をする。		
3 本時の学習の導入・理解・練	<u> </u>		
今日の目標:芸北中学 先生や有名人の情報をもとに3 文以上の英文で紹介文を書く。	校の先生や有名人の紹介文を書る	こう。 ・三人称単数現 在形を使って紹	ワークシート
【例】This is Ichiro. He is 36 years old. He is from Aichi. He has a dog. He likes baseball.	年齢36 歳出身愛知県ペット1 匹の犬好きな事野球s を落としている生徒には気付かせるような問いかけをする。	介文を書くこと ができる。	
全体の前で何人かに発表させる。	様々な表現ができることに気付 かせる。	・聞き手に内容を伝えられるに、場面に表現方に表現で表して、表現で表している。	活動観察
4 本時の学習を振り返る			
本時を通して分かったことをま とめる。	文を書く時や作る時のポイント の確認をさせる。		
5 次時の学習を確認する。			
次時は三人称単数現在形の疑問 文と応答表現をすることを伝え る。			

## 検 証

## 検証の方法

## 問題

次の表はナンシー (Nancy) について書かれたものです。この表から3文以上でナンシを紹介する文章を書きなさい。なお、最初の文はThis is で書きなさい。(ただし, This is の文は1文に入らない)

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
名 前	ナンシー
出身地	カナダ
年 齢	1 3 歳
飼っているペット	姉1人
好きなこと	音楽
毎日すること	テニス

#### 【出題の趣旨】

それぞれの人のことについて,様々な表現を使い,英語で表現することができるか。

This is	

#### 検証結果

文の数	3 文以上		3	文	2文		
文法正誤	×		×			×	
*h ( 0/ )	2人	2人	1人	3人	1人	1人	
人数(%)	(15.4%)	(15.4%)	(7.7%)	(23.1%)	(7.7%)	(7.7%)	
文の数	1文		無回答				
文法正誤		×					
\ \#h ( 04 \	1人	2人	0人				
人数(%)	(7.7%)	(15.4%)	( 0'	%)			

### 分析・考察

3 文以上の文を意欲的に書こうとした生徒は 1 3 人中 8 人で、無回答生徒は 0 人であった。"先生 や有名人の情報をもとに 3 文以上の英文を書く"ことを練習で行い、生徒の書くモティベーション はあがっていった。検証問題の誤答として、be 動詞と一般動詞の区別はできているものの、3 人称 単数 s のつけ忘れが目立った。今後も正確に文を書くことを継続して指導していきたい。